

発行:横浜市建築設計協同組合 広報委員会 koho@ysk.or.jp 〒231-0012

横浜市中区相生町6丁目113番地 オーク桜木町ビル6階 TEL.045-662-6557

協力:(㈱建通新聞社 (㈱ヒライデ

新しい横浜への夢 コロナを超えて

横浜市建築設計協同組合理事長 金子 修司

新年の挨拶	1
新副理事挨拶	2
新事務局紹介	3
横浜市建築局 優良建築設計者 表彰	4-5
プロポーザル	6-7
絵画同好会	8
新組合員紹介· 事務所紹介	9
協力会だより 編集後記	10

令和2年の幕開けは、想像も出来なかった新型 コロナウイルスの全世界な蔓延の中で始まりまし た。中国武漢発祥と言われる新型コロナウイルス の感染者を乗せたクルーズ船、ダイヤモンドプリ ンセス号が横浜港の岸壁に係留され夜間も煌々と 全艦点灯で不夜城の様な風景であったことが忘れ られません。急速に全世界へ蔓延したウイルスの 猛威は続き、ワクチン開発はやっと始まったよう です。16世紀にヨーロッパを襲ったペストの流 行を思わせる状況に人知の及ぶことの出来ない生



命の神秘ささえ感じます。感染等への周到な対策と防疫、開発されたワクチン の効果に大きな期待をかけるところです。コロナと共生する時代を生きるため に人類の英知を結集させることが求められます。

コロナ禍の今となっては、経済効果を期待された東京オリンピックの行く末 も不透明です。

世界情勢から見てもインバウンド需要に期待することはいまや困難です。こ の緊迫した状況の中で確実に内需の底上げを実現するためには官民一体となっ て抜本的な改革をすることが必要であると思えますが次世代へ大きな課題を残 すことになるものと考えられます。

横浜を訪れる多くの人々が横浜の魅力は海に開かれたエリア、開港期からの 都市の雰囲気と歴史にあり、建物の景観や雰囲気にあると語っています。横浜 が素晴らしい街であり続けるためにも歴史的な建物の活用、保存を街づくりの 理念として、魅力ある優れたデザインの建物や街並みを守り発展させてゆくこ とが必要です。

昨年は開港都市の横浜の魅力をさらに高める新市庁舎が建築家植文彦氏のデ ザインにより完成しました。その優美な姿は新しい北仲エリアの魅力的なシン ボルとして今後の都市景観やランドスケープへの記念碑的な役割をも果すこと になります。

また戦後の横浜の象徴であった建築家村野藤吾氏の設計による旧市庁舎も関 内エリア再開発のシンボルとして保存、活用される案での企画提案が採用され ました。横浜関内の歴史を引継ぎ、歴史性を生かした魅力ある街へと変身を遂 げる姿を見守りたいと考えています。

日本を代表するモダニズムの建築家村野藤吾から槇文彦へと題したモダニズ ム建築の二人の建築展を見て横浜の魅力と素晴らしさをあらためて感じ、建築 の持つ力、可能性に触れることが出来ました。念願かなって実現した旧市役所 の最後の見学会には多くの市民が訪れて、都市デザイン室の皆さんの熱心な解 説を聞きながら建物に込められた思い触れることができました。

コロナ禍で開けた新しいこの一年の行く先は、まだ見えないままですが、私 たちは横浜の設計事務所の集まりとしてコロナに負けることなく安心で安全な 街づくり、美しい魅力的な横浜の街づくりに全力で取り組みたいと考えており ます。

新副理事長挨拶

株式会社ジェイ・アイ設計事務所 石渡 順一

前副理事長がYSKを脱退したため、令和2年6月30日にソーシャルディスタンスを考慮して行われた総会にて理事選挙が行われました。

選挙の結果、石渡順一氏が新理事に当選され、直後に行われた理事会にて新副理事 長に選出されました。

石渡氏は協同組合 横浜市設備設計の理事長でもあります。

返り咲きでYSK副理事長を仰せつかりましたYSS 理事長の石渡でございます。

2020年は新型コロナウイルスに翻弄された1年でしたが、2021年もまだ安心・安全な環境とは言いずらい状況です、ダメージを受けた経済を早く立て直さないと行けませんので仕事とウイルス対策を上手く両立させる手段を考察してまいります。

お陰様で、YSK・YSS共に保全業務が堅調に推移しており安心しておりますが、国も地方自治体もコロナで疲弊していますので、今後の業務に影響が出ることも予測しその対策の必要性を感じています。



YSKも新事務所への移転と事務局職員の一部入れ替えで新たなスタートを切りました。

YSS事務所とも徒歩圏内ですので関連業務も円滑に行えます、現在は一部を除き、業務発注が建築と設備が分離されて配分での煩わしさは解消されていますので、建築設計と設備設計が以前にも増して同一業務での連携を強化して受注業務の精度を向上させて発注者の満足度を高める調整役を担ってまいります。

ご存じのようにYSS組合員の高齢化・事業継承が中々解消出来ていませんが、今後とも設備設計事務所の強化に励み、いかなる設計案件にも対応可能でフレキシブルに対処するよう心掛けてまいります。

新事務局紹介

長きに渡り事務局があった中区不老町を 離れ、相生町に引っ越しました。

新市庁舎から川沿いに徒歩僅か2分です。

新事務所業務開始日 令和2年10月19日(月)





〒231-0012 横浜市中区相生町6丁目113番地

オーク桜木町ビル6階 電話:045-662-6557 FAX:045-662-8894

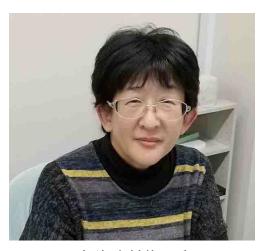
※電話番号・FAX番号は変更ありません



新事務局員のご紹介



事務局長 松島宏充氏



会計 小材依子氏

横浜市建築局優良建築設計者表彰

平成19年から始まった横浜市の建築局優良建築設計者表彰も今年で14 回目になり、すっかり定着しています。

本年も組合員が多数受賞することが出来ました。 実に7社中5社を組合員が占めています。 「住みよい魅力ある街づくり」を掲げる YSK としてとても誇らしいことです。

以下に受賞作品をご紹介します。

新·增·改築部門 優秀賞 有限会社 協和建築設計事務所 児崎 為之

・矢向中学校(増築)

生徒数の増加対策として、校舎棟の増築及び、既存校舎棟の管理諸室の拡張や改修を行い効率的な教育環境の向上をはかりました。

【増築校舎の配置】

スポーツが盛んな校風から建設場所はグラウンドへの影響を最小限とした敷地北東の正門付近としました。正門は生徒の主な通学経路の上、緊急車両等の唯一の進入経路となっており、この経路を安全に確保するため、渡り廊下は2階建てとし、1階を大型車両の進入経路、2階は屋内通路で既存校舎と結び、安全なバリアフリー動線を確保しました。

【良好な学習環境】

増築校舎は建築面積をコンパクトにできる中廊下型を採用することで効率的な動線を確保すると共に建設コストを抑制しました。普通教室は南側直線配置とし良好な採光と通風を確保。内壁を木質感のある仕上げ材とすることで温かみを感じる快適な学習環境としました。

【災害に強い学校】

建設場所は地震時に地盤液状化が想定されるため、杭工事では地震力が大きくかかる杭上部に強度が高い既製コンクリート杭の工法を採用しました。

足場がなくても手が届く範囲のみに採用するなど、長期的なメンテナン



新·增·改築部門 優秀賞 株式会社 K R 建築研究所 服部 健太郎

・岡津地域ケアプラザ新築工事

木造2階建てのケアプラザの新築工事です。地域に親しまれるあたたかみのある建物になるように国産の木を生かした設計とし、土台は静岡県の桧、柱・梁は北海道の唐松と神奈川県の杉、外壁の羽目板には箱根杉を用いました。また階段室の吹抜け上部の梁には神奈川県産の杉の丸太を使いました。誰もが使いやすいよう、動線がわかりやすいシンプルな長方形の平面プランとし、金物工法を採用することで1階の大スパンの事務室と、緑化面積を確保するための2階のテラスを実現しました。

2階の多目的ホールはテラスに面して開口部を多く設け、明るく開放的な空間としました。内装には調湿・消臭機能のある天然シラスの塗り壁を採用し、健康にも優しい 建物としています。定期的な塗り替えが行いやすいよう、外部の木材は

スにも配慮しました。



株式会社 田辺設計 田島 文男 新•增•改築部門 優秀賞

・市場小学校けやき分校新築工事

市場小学校学区内の一時的な児童数増加に対応するため、暫定的に10年間運用する分校 です。

「児童や地域住民が愛着を持てる学校」をコンセプトとしつつ、ライフサイクルコストの低減 を図りました。解体時のコスト優位性から、鉄骨造を採用したのもそのひとつです。敷地が狭 小なことから、合理的な教室配置とし、屋内運動場やプールを校舎と一体的に整備しました。

通学路は、隣地のポンプ所屋上にある元宮さわやか公園を通る為、必然的に昇降口を2階 に設置することが求められました。

公園から昇降口に渡るための接続デッキは、児童が安全に避難 できるよう、避難時の歩行速度や群集密度を考慮して計画しました。 昇降口には、児童や先生の協力により、メッセージを手彫りした木 板タイルを製作し展示しました。

このメッセージ木板タイルは、簡単に着脱できる仕組みとし、暫 定運用後にも思い出に残せるよう配慮をしました。



新•增•改築部門 株式会社 野口建築設計事務所 優秀賞 野口富美子

・青葉台小学校放課後キッズクラブ事業施設整備工事

敷地条件により、既存校舎前に木造 2 階建ての放課後キッズクラブを計画することになりま した。

既存校舎への影響を最小限とするため、建物形状として、棟を桁中心からずらした切妻大屋 根を採用しました。屋根勾配に沿って2階まで連続する架構や野地板は室内に現わし、室内 空間が一体的に感じられるよう工夫し、木の温かみを感じられる空間としました。壁に穿たれ た大小の窓は、各室を視覚的につなげ、どこにいても子どもの気配が感じられるように配慮し ました。

構造的には、荷重や意匠に応じた木材選定、単純な架構計画を心掛けました。また仕上は 手の触れられる木軸部分は現わしとせず、手の届かない天井面の み現わしとすることで、メンテナンスに配慮、建物の長寿命化を目 指しました。配置では、学校運営に配慮したエントランスの向きの 検討、植栽帯による目隠しなどをおこない計画しました。

子どもたちにとって放課後の楽しい居場所になってもらえると思い ます。



改修•改造部門 優秀賞 株式会社 金子設計 稲毛 恒男

・本宿小学校屋内運動場改修その他工事

本計画は、平成27年のプロポーザルにて採用していただきました。昭和33年創立の本宿小 学校は旭区の鶴ヶ峰と二俣川の中間に位置しております。築50年以上の経年劣化した屋内運動 場の大規模改修及び付帯施設の増築を行うことで、施設環境の改善を図り、合わせて施設の長 寿命化を実現しました。

敷地と周辺道路が狭いことや学校からの様々な要望に対して意見交換を行い、問題点を整理 調整しながら計画を行うとともに、隣地側にある渡り廊下をグラウンド側にも新設し、屋内運動場 への児童の動線を分散することで隣接している近隣住宅に配慮しました。

体育室は、学校教育目標にもある「体を動かすことを楽しみ」につながる明るい環境として本 宿小学校らしい屋内運動場となるような計画としました。

外観は周辺の色調と合わせると共に、上部と下部で外壁の色を変 えることでボリュームを分節し、周囲環境へ配慮した計画としました。

また、工事着手後、仕上材を撤去したところ既存躯体壁が C B 造 で臥梁が無かったことから、迅速に調査及び補強案の検討を行い、 鉄骨補強をすることで C B 壁の転倒防止を図り、建物の安全性を確 保しました。



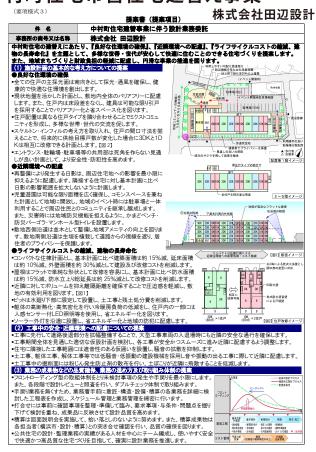
プロポーザル

万騎が原小学校建替え工事

梓·金子設計共同企業体



中村町住宅市営住宅建替え事業



横浜市立小学校建替え基本構想(入札)

つつじが丘小学校

株式会社川喜田建築設計事務所 矢向小学校 株式会社コア建築設計工房 菊名小学校 株式会社田辺設計 吉原小学校

株式会社渡辺建築設計事務所 戸塚小学校

株式会社野口建築設計事務所

市営住宅建替基本計画(入札)

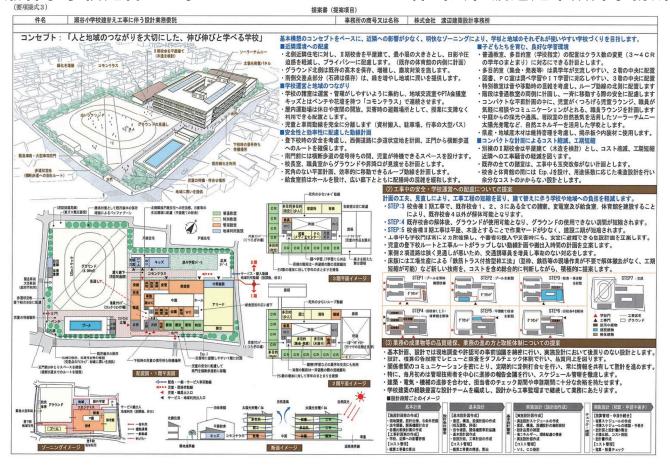
洋光台住宅建替え基本計画 有限会社元塚設計

本郷台駅周辺市営住宅集約化検討 株式会社金子設計

さかえ住宅建替え基本計画 株式会社渡辺建築設計事務所

瀬谷小学校建替え工事

株式会社渡辺建築設計事務所



平成30年(2018年)から始まった横浜市立小中学校建替え工事に伴う設計業務委託の公募型プロポーザルは今年度も3校が対象となり、その内の2校をYSK組合員にて受託いたしました。昨年度のKR建築研究所(池上小学校)に続き連続して受託となりました。

さらに、プロポーザルの前段階である基本構想業務は入札により、6校中5校をYSK組合員にて受託いたしました。

YSK教育環境研究会、新建築構造研究会にて行われた、学校施設見学や木質化に関する講習会などによって得られた新しい知見が提案に活かされました。

令和33年(2051年)までに384校を建替えの対象とした「横浜市立小中学校施設の建替えに関する基本方針」、及び「横浜市市営住宅の再生に関する基本的な考え方」を下支えすることができるように、培った技術を発揮して組合員一丸となって今後も取り組んでまいります。

提案書の詳細は下記より横浜市HPにてご覧ください





万騎が原小学校中村町住宅

瀬谷小学校

絵画同好会

株式会社 詢工房 石塚 治

絵画同好会では忠隈宏子先生に20年以上もご指導頂いております。 先生の指導のもと会員は和気あいあいと絵画を楽しんでおります。

先生は東京藝術大学油画科を卒業されてから、35年に渡り水彩連盟展にて数多くの賞を受賞。 神奈川女流展では知事賞、東京都美術館で開催されたベストセレクション美術 2013 ではアーティ ストトークにも出席されています。現在は水彩連盟の代表になっていらっしゃいます。

絵画に造詣が深い先生ですが、 実は文筆にも長けています。 以下は先生が書いたエッセイです。ぜひご一読下さい。



令和元年の絵画同好会旅行にて



感染対策をしつつ創作活動中

「王様クレヨン」

忠隈 宏子

どと思ったことなどない。

議な色や形に心ひかれるようになった。実物を観たのは ずっと 後のこ

のだから、やはり好きだったのだ。しかし、三度の飯より好きで……な だばゴッホになる」と言った棟方志功の様な強い情熱があったわけでも 絵に出会うようになった。例えば『鳥獣戯画』の擬人化された動物たち ることはあっても、実物の油絵など観る機会は無かった。しかし少し大 に驚き、ピカソの変形された人物に興味を持ち、クレーの音楽的で不思 ない。ダリのぐにゃっと曲った時計の『記憶の間執』、シュールな世 界 のおもしろく、生き生きした表情、ゴッホの揺れる色彩やはげしい筆使 きくなって、図画や美術の教科書の中の小さな図版で、幾つか気になる った。芸大まで行くからには相当絵が好きか画家になりたかったのでは い。身近に画家がいたわけではないし、芸術に関心のある家庭でもなか い。特に黄色に魅せられ、私も黄色い絵をずいぶん描いた。しかし「わ 私の幼い頃は、ミレーやルノワールの絵のカレンダー等を何処かで見 …と他人は思うかも知れぬ。物心ついてから四十数年描き続けてきた 「絵描きになったきっかけは?」と聞かれても、 はっきり答 えられな

で、受験生や働く美術愛好家十数名。芸大副手だった井上悟さん(国画 よいよ本格的に石膏デッサンから始めた。大森画荘という小さな研究所 めて裸婦を描き、講師の評の「素直で良い」の一言で勇気付けられ、 の時友人と一緒に、無謀にも何の知識も持たず、芸大の夏期講習会で初 会会員)の指導。その頃羽生出さん(国画会会員・芸大助教授)や佐藤 キしながら描いた『柿』はその後大分たって祖母にあげた。また、高校 もしっかり整いそれもそのはず先生の手になる輪郭。自分で描けなかっ で教わる。最初に描いたのは『ガーベラ』朱と緑の対比も鮮やかに、 と絵を習うことになる。久ちゃん(徳植久子・一水会会員)に六年生ま 初めての油絵は中学の時。アルバイトをして買った油絵具箱。ドキド

合格。私は多摩美に入り、マンドリン部でベンベン・コロコロと一年間 泰生さん(新制作会会員)も一緒に学んでいて、彼等はひと足先に芸大

授に直接指導を受け、その他山口蒸・牛島憲之・久保守と錚 錚 た る 教 楽しみ、再度芸大受験を試みる。なんとか合格。脇田和・小磯良平両教 授陣。環境も申し分ない。しかし、四年後の卒業の時、大変困ってしま

食卓を囲んだ子供特有の展開図式。もう一枚、十歳の頃の『酉 の 市』。 歳の時の『二羽の鶴』と『食事』は上級生に「変な絵!」と言われて少 外に出て座りとみ、じっと見つめていた情景を思い出す。さびた釘や蠟 ン紙をめくると細くてきれいなクレヨンが六本並んでいる。何故か家の 買ってくれた赤と緑の小さな薄い箱のクレヨンかも知れない。パラフィ これはかなりの自信作(?)。多勢道行く人々をカラフルに色付けし、ク なからずショックを受けたので憶えている。鶴の足は三本。食事風景は 石で路上に描いた絵と共に……。 記憶をたどって「きっかけ」をあえて言うならば、六歳の頃、父親が 小さい頃の絵は、その時の気持や情景と一緒に憶えているものだ。七

やマンガを描いた記憶がない。 否。内気でしゃべらない子供であった。その頃仲良くしてくれた女の子 小学一年生の夏に大阪から東京へ転居し、大阪弁をからかわれ登校拒

上本門寺の御会式の竿灯等、とても印象的であった。女の子が描く人形レパスで黒くふちどった絵。大森に住んでいたので、夏祭、酉の市、池

で三橋兄弟治先生とめぐり会い、その後、水彩画と長く関わることにな たり、グループ展も少しずつ加わり、フマギャラリーでの初めての個展 参加した。沢山の資質豊かな友人と出会ったことが何よりの収穫であっ 四年間、よく遊び、よく旅もし、アルバイトもした。矢橋六郎先生の大 理石モザイクによる壁画制作のアルバイトも多勢の学生と合宿しながら った。就職先もない。絵描きになれるかどうかも全くわからない。この とれから自分の絵を描かねばならない……と思った。新制展に出品し

にも、その後インドネシア・ネパール・タイ・ラオス・チベット等とい もっと自然体で、心を全開し、描き続けてゆけたら……と願っている。 へと変化してきた。そして今はもっと形の無い風へと心が移ってきた。 卵をモチーフにして、やっと自分が少し見えた気がした。色も黄から青 背おったインドの最初の旅が、私の絵を大きく変えていった。曼茶羅や ろいろな国を旅する機会にも恵まれ、その中でも寝袋を持ちリュックを 二十五歳の時、一生に一度との思いでヨーロッパ旅行を一カ月し、幸

新組合員紹介



株式会社三和設計 小野 哲広

今年の4月より、柳田三郎の後任として代表取締役に就任いたしました。

まだまだ未熟者ですが、少しでも組合活動に貢献できればと、考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



株式会社柳田建築設計 横溝 厚

この度、柳田勇の後任として代表取締役に就任致しました。組合の耐震業務では、長年所員として担当させて頂き、多くのことを学びました。

これからも微力ながらそれらの経験を活かし、組合活動に貢献できればと存じます。 どうぞよろしくお願い致します。

事務所紹介

株式会社川喜田建築設計事務所

< 荏田コミュニティハウス新築工事>

東急田園都市線江田駅から北へ徒歩5分の赤田東公園内に位置する地域交流施設です。公園の地盤レベルから約6.5mの高低差を有する傾斜地という敷地形状に突出せずに自然の中に溶け込むよう、既存樹木を極力残し、緑豊かな公園と一体化したヒューマンスケールの建築として『大屋根の下で育むコミュニティ』をコンセプトとし、緩やかな勾配の大屋根が建物全体を覆う計画としました。

内装は積極的に木質化を図り温もりある空間とし、特に天井はシナ合板のスリット張りとすることで、森の中の木漏れ日のようなリズミカルで印象的な内部空間を実現しました。 なお本業務において、令和元年度優良建築設計者表彰を受賞致しました。



<篠原中学校武道場増築工事>



JR新横浜駅の篠原口という出口から徒歩7分程度に位置する、中学校の武道場の増築工事です。

近隣住宅街との調和を図り、圧迫感の無い切妻屋根としました。床・壁等は鉄筋コンクリート造ですが、屋根架構は木造とし、大空間の中で力強いダイナミックな空間を実現しました。

グラウンドに面した西側は防球対策と西日対策として外部に有孔折板を設置し、内部側は木製ルーバー戸を設け、自然採光・通風に配慮しました。木造の登り梁や垂木の断面を小さくし、ヒューマンスケールの木質化とコスト縮減を図り、木の香りや光と風に包まれた温もりある空間を実現しました。

<綱島東小学校通級棟改修その他工事>

東急東横線綱島駅から徒歩7分程度に位置する、小学校校舎の改修工事です。児童数の増加に伴う通級指導教室の移転により、特別教室棟に改修・増築工事を行いました。

通級教室の躯体スパンが6m×7mと一般的なスパンよりも小さいため、各特別教室の平面計画及び備品等のレイアウトを検討し、調整を行いました。

また本年度は、渡り廊下棟と昇降機棟、職員室の増築工事を行っており、小学校全体の機能性を高め、教育環境向上を図っております。

児童・生徒や地域の皆様に親しまれ、愛着を持って大切に使って頂くことを願っております。



株式会社コア建築設計工房

<グループホームエクセレント北寺尾アネックス>

角地である敷地の一方の道路は、法42条2項道路で傾斜のきつい坂道です。敷地後退する際に建物擁壁とすることで宅造の許可不要とし、コスト縮減、事業期間の短縮を図りました。入居者が一日の大半を過ごすリビングダイニングは、高台となっている南面に大きな窓を設けた明るく開放的な空間で快適に過ごしていただけます。



<みなみすがお保育園>

近隣に川崎市中央市場がある立地を特色ととらえ、園内に「マルシェ(市場)」を創設し、地域 交流を促すコミュニティの核となる保育園を目指しました。「イエ(家族)」が集まって「マチ(地域)」となることを、切妻を連ねて象徴的に表現しました。「中庭」にて地域交流イベント「子育てマルシェ」を開催します。「キッズデザイン賞」を受賞いたしました。



<新大船幼稚園ナーサリールームCiao>

創立60周年を迎える幼稚園から、0,1,2歳児19名定員の小規模保育園をご依頼いただき、内閣府による「企業主導型保育事業」にて開設することをご提案しました。この敷地に元々あった和風の庭を活かした建築をご要望され、藍色の外壁、左官仕上、縦格子、竹フローリング、石張りの壁など、色彩、素材から和を感じさせる園舎としました。

協力会新入会員挨拶



ビューテック株式会社 保谷 雄司

はじめまして

お初にお目にかかります。この度、横浜市建築設計協同組合 協力会に入会させていただきました、ビューテック株式会社 建材事業部 関東営業所の保谷と申します。今回は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。 さて、弊社では、特定天井耐震化工事・内装工事など様々な施工を行い、専門工事業者として、社会に貢献をしております。 中でも、超軽量天井、プール耐震天井に関しては、豊富なノウハウと施工実績があります。 他に、省力化商材として、現場の職人不足・

施工廃材の減少に対応可能な「przo(プレゾー)」など、これからの建築業界のソリューションする商材も多数取り扱っております。 現在、施工を主としておりますが、組合員の方々、協力会の方々と共に、将来を見据えた建築業界のトレンド・課題点や最先端の情報を共有し、お互いに前向きな情報交換の場とさせていただきましたら幸甚に存じます。 なにとぞ今後共、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ご挨拶



株式会社アルテック 岡田 敏央

YSK 協力会の会員各社におかれましては、日ごろより協力会の活動にご理解いただきまして厚く御礼申し上げます。協力会の活動は、本会の事業活動の支援と親睦にありますが、2020年は新型コロナウィルスとの未曽有の戦いに強いられ、自粛やリモートなど働き方、コミュニケーションの変化により、残念ながら協力会として、本会の活動支援や親睦ができませんでした。協力会の幹事会も書面による第

36回定期総会後、1回目の幹事会を7月3日に行い書面議決の結果報告を送付させていただいたのみでした。

本来であれば毎年、5月に箱根にて定期総会とゴルフコンペ、6月に YSK 創立記念例会、7月に納涼バーベキュー、9月に神奈川県建設産業人チャリティーゴルフ大会、10月に PR 会・交流会と YSK 絵画展、11月に YSK 研修旅行と YSK ゴルフコンペ、12月に忘年例会、1月に YSK 賀詞交歓会、2月にセミナー等の多種多様なイベントに参加する機会が設けられ、本会と協力会の親睦を深める機会があったはずでしたが、残念ながら 2020年は感染拡大の恐れがあることからことごとく中止となり、YSK 絵画展に行かせていただいたことと、引越しした YSK 事務局へ協力会一同としてお祝いを贈らせていただいただけとなりました。2021年以降も新型コロナウィルスとはお付き合いしていかなければならないとは思いますが、ワクチンなどの開発、接種により、状況を鑑みて今まで通りとはいかないまでも早くそれに近い状況に戻っていくことを期待します。そして例年通り、いや例年以上に会員会社各社と本会会員事務所との親睦及び交流を積極的に図る企画をしてまいりたいと思いますので、各イベントへの積極的な参加と協力をお願い致します。

【編集後記】令和2年はコロナに振り回された一年でした。東京オリンピックの延期、初の非常事態宣言、海外渡航も出来ません。YSKでもほぼ全ての行事が中止や延期になりました。広報委員会でも恒例の提案会が2回も中止になっています。その中で横浜市の建築局優良建築設計者表彰に5社も選ばれるという良いニュースもありました。来年はYSKレターに良いニュースを沢山載せたいなぁ、と思っております。 (広報委員長 鈴木武昭)

- 発行 2021年1月17日
- YSK広報委員会 koho@ysk.or.jp
 - 小倉 宏志 鈴木武昭 井下周吾 小野 哲広 吉岡徹 渡邊吉郎
- 協力 株式会社アルテック 関西ペイント販売株式会社 株式会社サカクラ 株式会社LIXIL 株式会社オオスミ 文化シヤッター株式会社 株式会社建通新聞社 株式会社ヒライデ 田島ルーフィング株式会社 株式会社神奈川ナブコ 株式会社 川久保企画 JRCチーム